

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

奄美大島 現地視察

令和8年1月29日(木)

令和8年1月27日(火)から29日(木)にかけて、林業関連の現地視察のため奄美大島に行った。

奄美大島は、令和3年に徳之島、沖縄島北部、西表島と共に世界自然遺産に登録された。

奄美大島でも昔から林業が営まれ、沖縄島北部と同じく、森林の利用と保全の両立が課題となっている。

現地視察の結果、広葉樹が沖縄より通直で優良な林分が多い一方、平成22年をピークとした松くい虫による甚大な被害により、リュウキュウマツ資源が枯渇し、その結果、奄美産材を扱う内装業者や木工業者も激減、島内では製材や乾燥を行うことが困難であることもわかった。

沖縄においては、内装業者や木工業者が多くいる一方、収穫伐採箇所制限がかかっているほか、林業従事者不足もあり、県産木材の安定供給が課題となっている。

今回を機会に奄美大島との交流を継続し、林業推進の連携体制を構築していきたい。



奄美産材を用いた防草パネル工



奄美市住用木工工芸センター

(報告者：森林管理課 仲里・平田・石垣)